



# 東京園芸ニュース (28年度-108号)

平成29年3月 / 群馬県東京園芸情報センター

## 各県自慢の農畜産物をPR JAグループによる国産農畜産物商談会が開催！

### 国産農畜産物商談会

- 期間：3月7日(火)～8日(水)
- 場所：東京国際フォーラム 展示ホール E-1
- 主催：JA全農、JAバンク
- 内容：国産農畜産物や加工品の紹介や商談会等

### 全国から156団体の出展！

JAグループは、元気な産地づくりと地域の暮らしへの貢献や国産農畜産物の販売力強化の一環として、第11回JAグループ国産農畜産物商談会を開催しました。

今回は前回は上回る156団体が出展され、米・野菜・果物・畜産物・加工品等地域色あふれた自慢の国産農畜産物の紹介や、料理メニューの提案、試食等が行われました。

### 群馬県から7団体が農畜産物や加工品をPR！

JA全農ぐんまブースではJA前橋市と共同で出展が行われ、前橋市が推奨する「赤城の恵ブランド」から「まえばしうどん」と本格芋焼酎「赤城の恵」等が、全農ぐんまからは各種農産物やカット野菜、漬物や「青果物一次加工センター」の紹介が行われました。

JAたかさき、JAたのふじ、JAはぐくみは、高崎市の新ブランド「高崎そだち」をPRしており、「地産多消」の確立に向けさまざまな取組を行っています。今回は、高崎市内で生産された小麦「きぬの波」を100%使用し滑らかな食感が自慢の「高崎うどん」、群馬県育成いちご品種「やよいひめ」、梅ジュースや梅干し等の紹介が行われました。

JA上野村は、国産の大豆と大麦を原料に上野村で1年間じっくりと熟成させた「十石みそ」、猪豚商品（猪豚カレー、猪豚もつ煮込み、猪豚餃子等）等が紹介されました。また当JAは、農産物加工センターを完備しており、全国の農家からオリジナル地域商品の開発や製造の受託に取り組んでおり、「プラムのじゅーす」や「ふ～んわりクリーム大福」等の開発商品が紹介されていました。

また、群馬県食肉品質向上対策協議会からは「上州和牛」や「上州麦豚」等の紹介が行われ、本県産麦豚を使用した「骨付ハム」の試食も行われました。(株)ワイピーファームは、安心安全な自社栽培の機能性野菜の各種サプリメントや加工食品の開発を行っており、「ちしゃとう」や「桑」のパウダー等の加工食品が試食提供されました。



JA全農ぐんまとJA前橋市ブースの様子



JAたかさき、JAたのふじ、JAはぐくみブースの様子



JA上野村ブースの様子



群馬県食肉品質向上対策協議会ブースの様子